



水 泳 競 技

令和7年2月5日



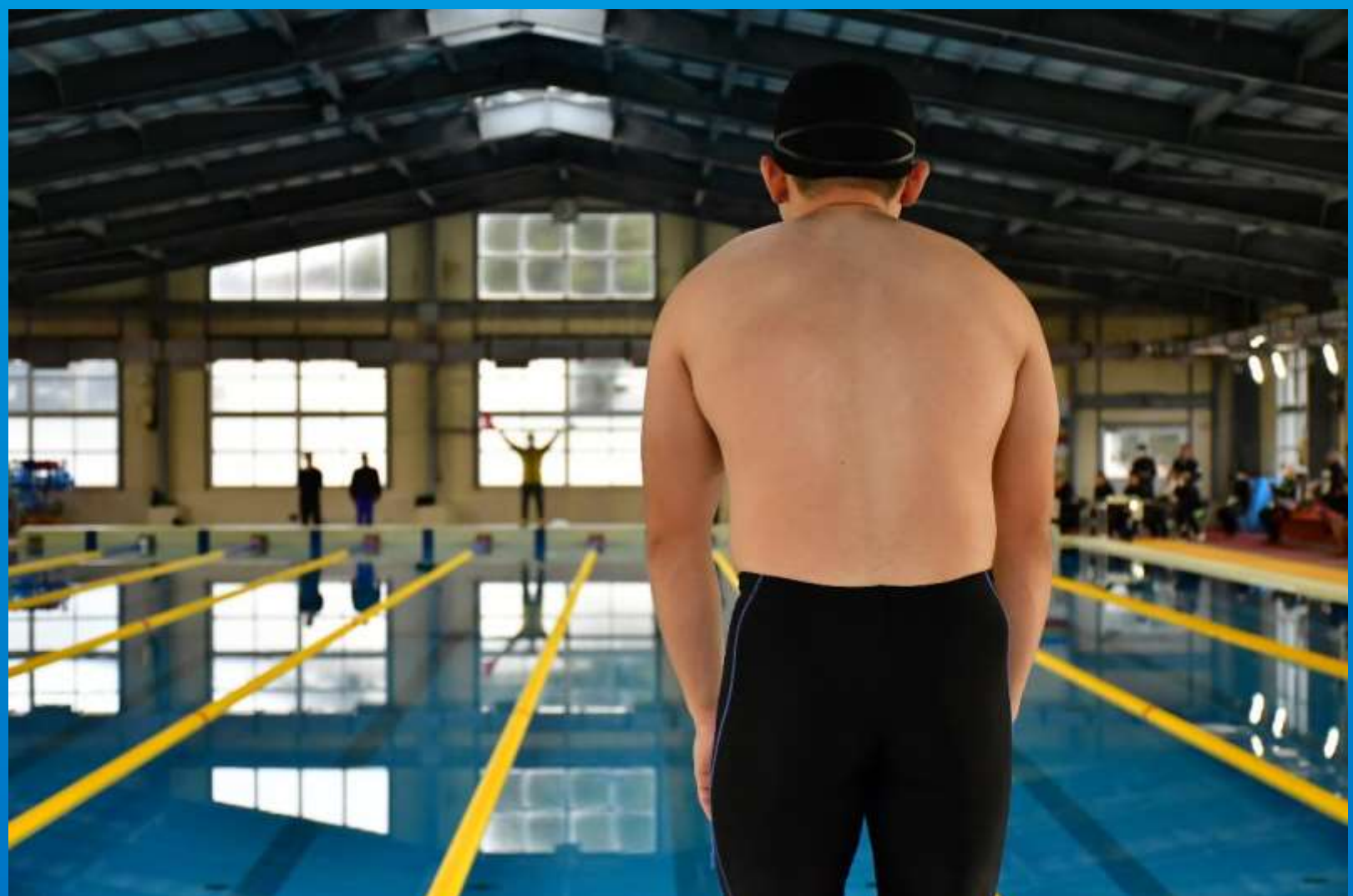
2月5日（水）水泳競技が行われました。

通常競泳で行うような競技の他、手旗を受信してから泳ぐ手旗受信レースや指定タイムで泳ぐタイムレースなどの勝敗が読めない競技もあり、また競技とは別に級外（赤帽）脱出チャレンジなども行われるなど、バラエティに富んだ内容の水泳競技でした。

手旗受信レース



このレースは、ゴール側で送られる手旗信号を受信してからスタートしゴール時に答えを言う、という形で行われます。素早く信号を読み取りスタートを切った方が有利ですが、不正解だった場合は着順が早くても最下位になってしまうため、確実性も要求されます。信号を送るのは手旗担当の教官です。絶対に間違えられないですね(*_*)

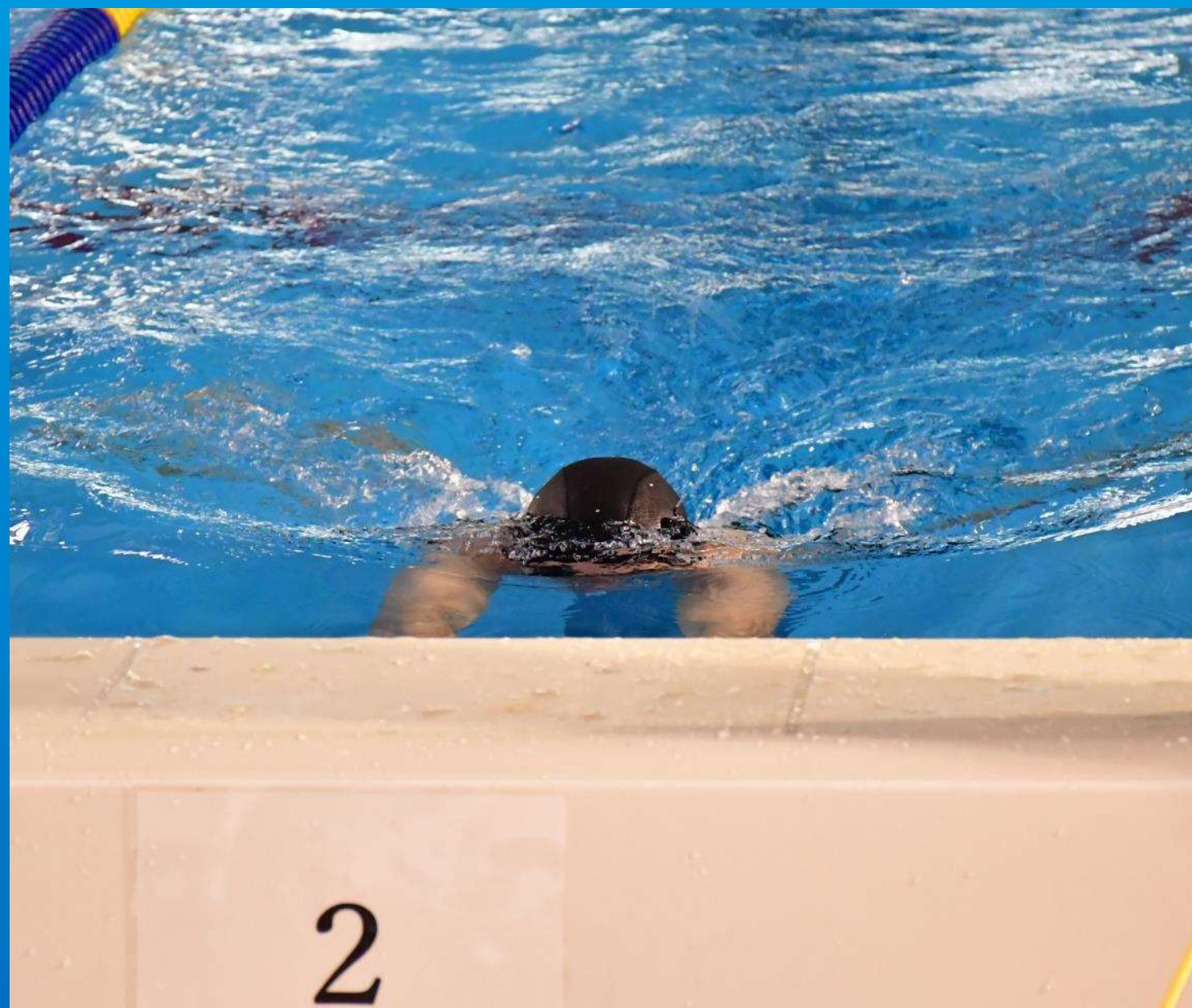


ゴツい学生もちっちゃくなって集中してました。



ゴールしたら測定係の教官に回答を言います。ちょっと自信なさげな表情の学生もありました。この日のお題は、「ランタン」と「レンコン」でした。ちょうど長崎ではランタンフェスティバルというお祭りが行われている時期で季節感のあるお題ですね。

50m平泳ぎ

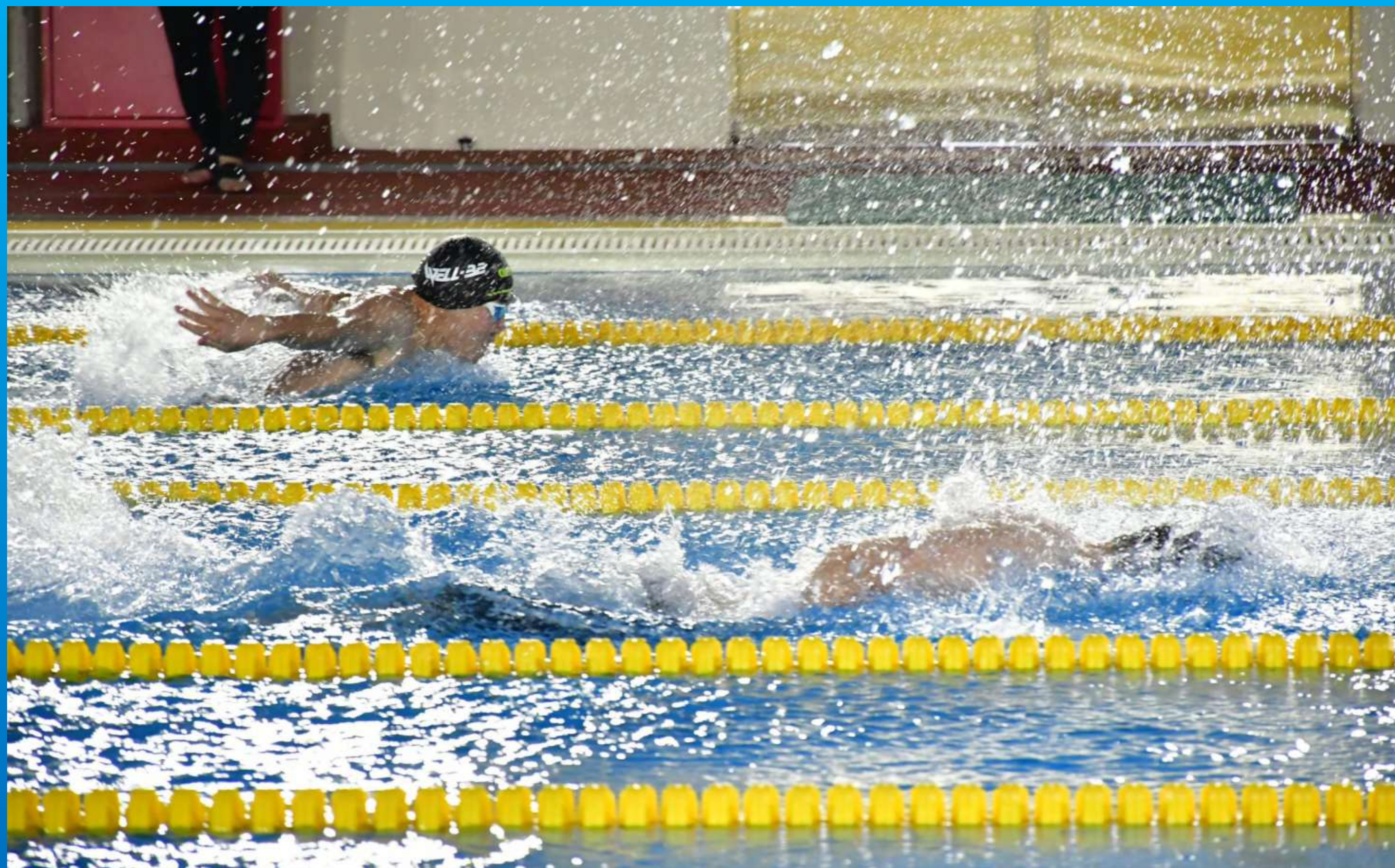


200mボール運搬リレー





50mバタフライ





100mムカデリレー



ムカデリレーは5人一組で縦につながって泳ぐレースになります。ムカデ競争の水泳版といったところでしょうか。タイミングが合わないと進まないばかりか息継ぎもしにくいという、見た目のコミカルさに反して地味にしんどい種目です。





ムカデリレー終了時点での得点です。前半の競技が終了しましたが、後半のも配点が高い競技があるので勝負はまだ分かりません。

50m級外脱出チャレンジ



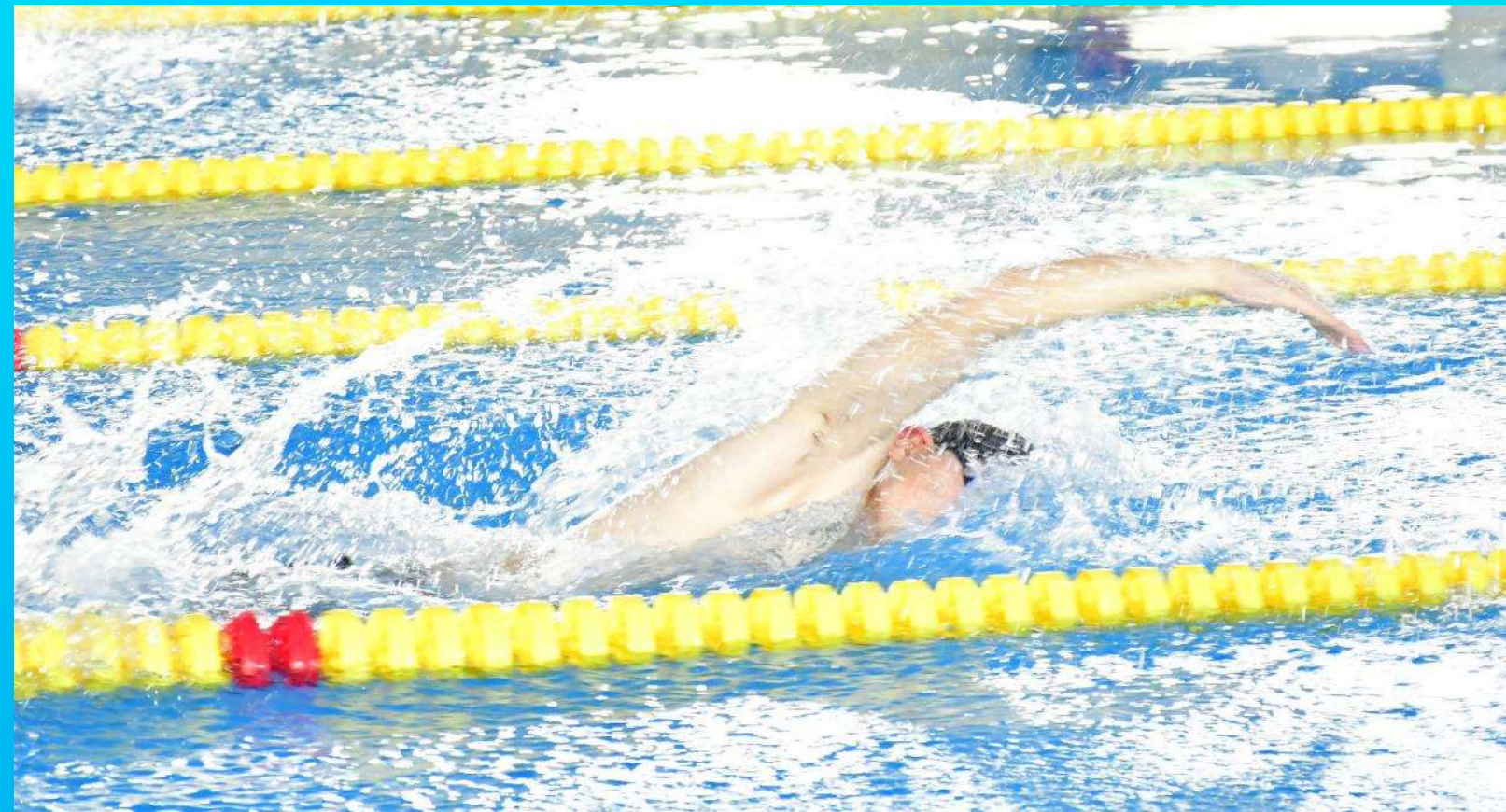


泳ぎ終えた直後は死にそうな顔をしていましたが、この表情を見ればお分かりいただけますよね。見事1名の学生が脱出成功しました。

わずかに及ばなかった学生も、当初は完泳できなかったところからここまで泳げるようになったそうです。すごい進歩だと思います。努力を続ければ必ずタイムを切れるようになるはずです。

50m自由形





100mロングビート板リレー







50m背泳ぎ





タイムレース

この競技で競うのは速さではなく、開始直前にタイムが言い渡され、そのタイムピッタリを目指して泳ぎます。泳法は自由です。





ほとんどの選手が誤差 1 秒以内というハイレベルな攻防の中、1 位の選手はなんとコンマ 1 秒の誤差という驚異的な記録で勝利しました。

200m 班対抗メドレーリレー

競技は進み、残すところあと 1 種目。この種目は背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、クロールの順で 200 m を泳ぎます。





これで全ての種目が終了しました。200m班対抗メドレーリレーを制したのは第4班。



そして、競技全体での優勝班は、同じく第4班でした。おめでとうございます！
大盛況のうちに競技は幕を閉じました。

優勝おめでとうございます！



最後の班対抗競技も終了し、気づけば修業まであと少し。学生生活で培ったことを大切に、残りの生活を過ごしてくださいね。